

【資料3】 WSAテストの構想図（検討時に作成したもの）

WSA 技能テスト(Writing and Speaking test of Argumentation)

0 テストの開発方針

- a. 自分の意見を「話すこと」と「書くこと」が評価される機会を多く与えられる内容・方法にする
 - b. 議論するために必要な発信能力を培うことができる内容・方法にする
 - c. 学習者が技能の向上のためのポイントを理解しやすい内容・方法にする
-
- a. WSA 技能テストは、学習者の「論証の技能(Argumentation-Skill)」を評価する
 - b. 「論証の技能」の定義は、「議論する目的で自分の意見を論理的に「話す」及び「書く」ための発信型の技能」とする

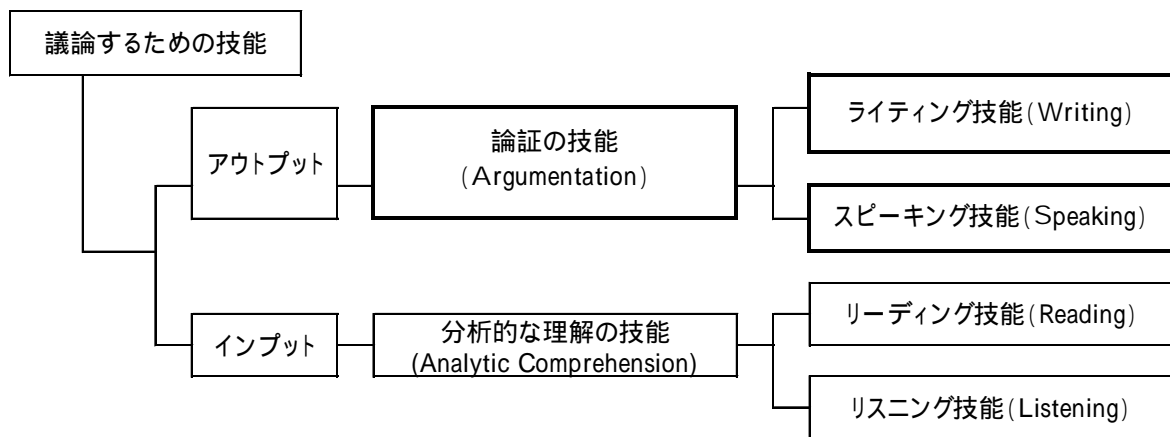
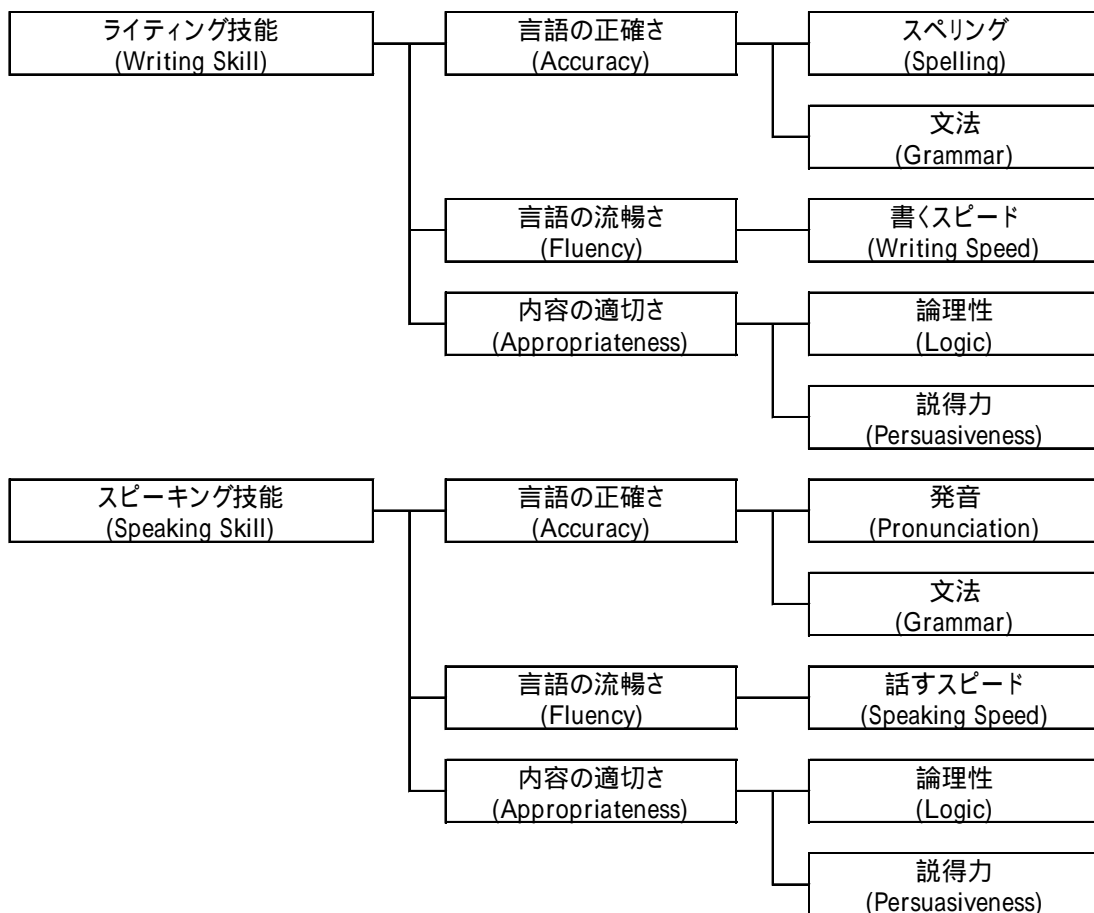


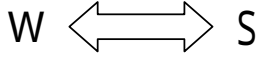
図3 テスト内容の位置づけ

2 論証の技能の指標となるもの

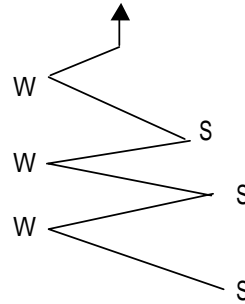


3 論証技能がステップアップするイメージ

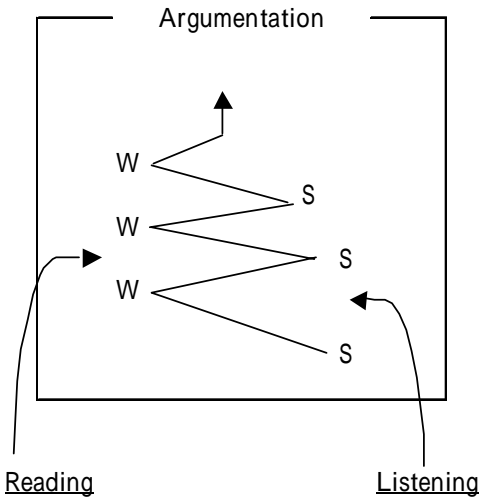
a. 獲得した技能が相互に転移・汎化し合う



b. 応報的なプロセスを経て向上していく



c. 論証技能を培うのに必要なインプットを補うことで効果的に向上していく



4 テスト方法(順序)の選択肢

	即興(Extemporaneous)	非即興(Prepared)	仮説
「書く」優位 (Writing-predominant)	W → S	W → S	ら W う 場 か ら ら S 場 へ 合 に に 有 効 効 の 転 移 を ね
「話す」優位 (Speaking-predominant)	S → W	S → W	ら S う 場 か ら ら W 場 へ 合 に に 有 効 効 の 転 移 を ね
出題内容	SとWは別々の問題	SとWは共通の問題	